

小学校受験 入試問題例 (代表的な問題の一部をご紹介します)

小学校入試における考査は、①学力考査 ②行動観察 ③工作・描画 ④運動と指示行動 ⑤巧緻性の5種類に大別されます。入学試験においては、上記の5分野でバランス良く得点をしなければならないのは言うまでもありません。では具体的に、それぞれの分野でどのような問題が出題されているのでしょうか。近年の首都圏の実際の入試問題を題材に、具体的な問題例を見ていきたいと思います。

① 学力考査

紙と鉛筆(またはフェルトペンやクレヨンなど)を使ういわゆる「ペーパー試験」だけでなく、「話の記憶」や「お話づくり」、「口頭による常識テスト」も含まれます。

この学力考査はさらに、A数量 B比較(同じものを選ぶ、あるいは間違い探しなど) C社会常識 D推理・思考 E話の記憶・話作り に分類できます。最初は高度に感じるかもしれませんが、コツもつかみやすく、日々の練習で伸ばしやすい領域でもあります。A～Eの具体的な問題を見ていきます。

A. 数量

ものの数を認識することはもちろん、十、一の記号こそ現れませんが簡単な足し算・引き算の考え方が求められます。

〈具体例〉

・1番上の長四角を見てください。

白い箱や黒い箱、丸い筒を通ると、りんごの数が増えたり減ったりします。お約束をよく見て下の四角の中がいくつになるかその数だけ○を書きましょう。

(雙葉)

